

教科・科目	高校3年 古典探究(標準・基礎)	
担当者	杉山 武	
評価割合(試験:試験外)	試験:6 試験外:4	
年間を通じて教科で培う力	知識・技能	古文単語と文法的事項を(用言・助動詞・助詞・敬語・句法)を理解して、正しく口語訳できる
	思考・判断力・表現	現代と変わらない心情と当時の生活を捉える。
	主体的に学習に取り組む姿勢	古典を通じて温故知新を実感する。

月	単元(学習)目標	単元目的(到達状態)	学習内容	活動内容	評価方法・ポイント
4	用言・助動詞、古典常識の復習・確認	文法的事項の確認	文法・古文単語	・講義	・古文単語テスト
	返読文字・置き字・再読文字の復習	漢文構造の理解	句形		
5	今昔物語集(馬盗人)	助動詞の働き、意味・活用・接続を完全に理解する。	文法・古文単語	・講義	・古文単語テスト
	堤中納言物語(虫めづる姫君)	助詞の意味・接続について理解する。・敬語(尊敬・謙譲・丁寧)の種類と語意を正確に理解する。			定期試験
	史記「列伝」刎頸の交わり	漢文の表現には遠まわしの表現が少ない、極めて論理的であることを知っておくこと。 →論理を追うことが大事である。整った構成で、完結した表現の意図が貫かれているを理解する。	句形		
6	大鏡(肝だめし)	誰の誰に対する敬意の表現かを理解する。	文法・古文単語	・講義	・古文単語テスト
	和泉式部日記(薫る香に)	登場人物の身分や関係を把握する。			
	和歌の修辞法	和歌の修辞法(掛詞・枕詞・序詞・縁語など)を理解する。	句形		
7	源氏物語(葵の上と物の怪)	敬語は主な敬語の用法を覚え、人物関係を把握しながら本文を読むことが大切。授業の中でもそのことを踏まえて、敬語を徹底的に確認していく。	文法・古文単語	・講義	・古文単語テスト
	源氏物語(母子の別れ)				定期試験
	思想「論語」	漢文の構成は①具体的事例(地の文) ②展開的説明(会話文引用) ③結論(会話文引用) 会話の最後は「疑問・反語」になることが多い。「～んや」で終われば反語になる。 エピソードから教訓 →多文多読することで、この構成に慣れること。 また対句表現に注意すること。	句形		
8	夏期課題	共通テスト(センター試験)の過去問10年分			
9～12	共通テスト対策問題演習／ 国公立・私立大学入試問題演習	文法事項は「助動詞・助詞・敬語」が入試の中心となる。文法の穴埋めや識別の問題、上と下の接続で判断する問題。「品詞分解」「副詞の呼応」「係り結び」などに注意する。			古文単語テスト
		文学史・古典常識 ・授業の中で触れる事柄は最低限知っておく。 ・助詞・助動詞は、識別や意味判断で問われる頻出項目を集中して学習する。			古文単語テスト
		古文の問題は「場面の理解」「人物の心理」「相互の関係」「指示語の内容説明」「事件の原因・経緯」「主題・要旨」等を確実な古典単語と文法を持って読解していくことである。多くの問題を解くことで養っていく。			
		漢文は登場人物達の苦難や逆境を乗り越える痛快な活躍、その中の知恵や教訓が為になるから読まれている。漢文の大きな柱は①地理・歴史的理解②人物・思想的理解③語句・文法的理解の三つである。この三本の柱を通して漢文を読む訓練をする。			